

## 2012年夏季の電力需給対策

### 1 今夏の電力需給見通し（報告徴収の概要）

(1) 1点最大電力（今夏が2010年並みの猛暑になると想定した場合の計算値）：2,648万kW〔8月〕

＜需要面の取り組み＞

・夏季休日契約等への新規加入等のお願い

2011年度契約値36万kW（自動車関連企業除き）から4万kW上積みし、40万kWを目標に、大規模な工場等のお客さまに対して、新規加入等のお願いを実施。

・自家用発電設備の発電量増加のお願い

2011年度合計契約値8万kWから2万kW上積みし、10万kWを目標に、自家用発電設備を保有されているお客さまへお願いを実施。

(2) 供給力：2,785万kW（緊急時の火力増出力10万kW含む）〔8月〕

＜供給面の取り組み＞

・上越火力発電所1-1号（出力：59.5万kW）の営業運転開始

・武豊火力発電所2号機など長期計画停止火力機の運転継続

・軽負荷期（春季）への定期点検時期の前倒し（4ユニット）

・定期点検期間の可能な限りの短縮（4ユニット）

・法定期限を超えた定期点検の実施（秋季以降への繰り延べ：川越火力発電所3-3号機、知多火力発電所1号機）

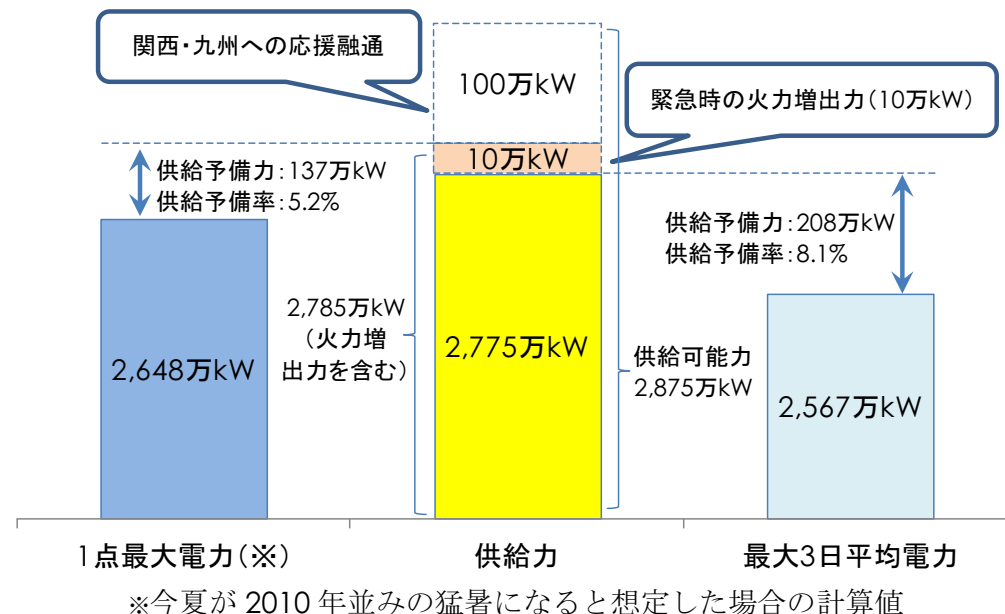
(3) 電力融通

需給逼迫が見込まれる他電力に対して電力融通を実施

・ピーク時間帯（13時～16時）に100万kW、それ以外の時間帯は最大で230万kW程度

(4) 供給予備率：5.2%（1点最大電力を最大3日平均電力に置き換えると、供給予備率は8.1%）

【図1】 最大電力と供給力について<8月>



### 2 当社供給エリアにおける節電

(1) 国の節電要請内容

7月2日（月）～9月28日（金）の平日9:00～20:00については、数値目標を伴わない節電を全国共通で要請。その上で、当社管内においては、以下の節電目標が設定された。

内容	期間	時間	節電目標
数値目標を伴う節電	7月2日（月）～9月7日（金）の平日（8月13日～15日を除く）	9:00～20:00	2010年夏季における使用最大電力(kW)等を基準の目安とし、▲5%以上

(2) 当社供給エリアにおける節電水準

当社供給エリアの最大電力見通しは、すでに定着した節電

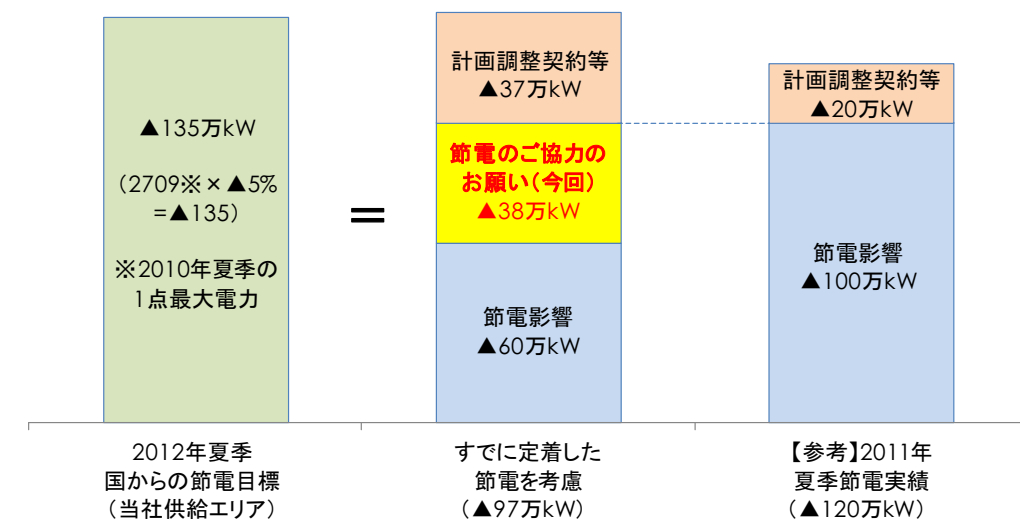
・お客さまの節電意識の定着による需要抑制影響：60万kW程度

・夏季休日契約への新規加入、自家用発電設備の発電量増加等のご協力：37万kW程度

を織り込んでおり、これらの合計値97万kWは、基準の目安となる2010年夏季使用最大電力（2,709万kW：1点最大実績）の▲3.6%となる。

これらの定着した節電を含めた形で、2010年比▲5%を節電目標とする。

【図2】 当社供給エリアにおける節電目標の水準感



(3) 需給状況・節電方法等に関する情報提供

◇需給状況等について、ホームページでの情報提供を実施（6月下旬～）

◇ご家庭のお客さま

効果的な節電方法のご案内とあわせて節電のお願いを実施。

・ホームページ（6月下旬～）

・テレビ・ラジオCM（6月下旬～）

・新聞広告（6月下旬）

・検針時にお配りするチラシ（6月18日～）

◇企業のお客さま

・個別訪問により節電のお願いを実施中（5月18日～）

・ダイレクトメールの発送により節電のお願いを実施（6月4日～）

### 3 豊田市等におけるデマンドレスポンス実証試験の実施

当社は、経済産業省が推進している「次世代エネルギー・社会システム実証事業」の一つである豊田市における「低炭素社会システム実証プロジェクト」の一環として、電力需給逼迫への対応を目的とした需要応答（デマンドレスポンス）に関する実証試験を行います。

#### <実証試験の概要>

実証場所	豊田市内および周辺的一般住宅 最大 160 軒程度
実証期間	2012 年 6 月から 2014 年 2 月（予定）
実証内容	・デマンドレスポンスの実証に必要な電力需要データの伝送および電気料金メニューの表示システムの開発 ・デマンドレスポンスの実施による電力使用状況の変化などの検証

当社としましては、発電所および送変電設備の重点的な点検や保守を確実に実施することで、当社供給エリアの安定供給に万全を期してまいります。

その上で、お客さまに節電のご協力をいただきながら、融通を通して、需給ひっ迫が見込まれる地域の安定供給にも最大限貢献してまいりたいと考えております。

お客さまにおかれましては、誠にご不便をおかけいたしますが、夏季に電力需要が特に高くなる平日 13 時～16 時の時間帯を中心に、節電へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上